

2019年8月7日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「がんサバイバーの周産期管理に関する既存情報を用いた後方視的検討」への協力をお願い

産婦人科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：過去にがん治療を受けた既往があり、2011年1月1日～2018年12月31日の間に当院で分娩した方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2020年12月31日

研究目的・方法：

がんサバイバーとは「一度でもがんと診断されたことのある人」を指す言葉です。がん治療は様々な臓器に影響を与え、時には妊孕性の低下や消失を招くこともあります。近年、がん治療、生殖医療の進歩により、がんサバイバーの方が妊娠する機会は増加していますが、その周産期管理におけるリスクについてはまだあまり認識されていません。

本研究では当院でのがんサバイバーの方の周産期管理の経験をもとに、母児の安全を目指す上での管理上の注意点を検討することを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得します。

がんの診断名、進行期、組織型、診断時の年齢、がん治療の内容、妊娠成立時のがんの状態、再発の有無、治療終了から妊娠成立までの期間、妊娠分娩歴、不妊治療の有無・内容、産科合併症、分娩週数、分娩方法、出生体重、Apgar score、児の性別、授乳の有無、新生児合併症、産後1ヶ月健診でのエジンバラ産後うつ質問票結果

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科

電話番号 058-230-6349

氏名：志賀 友美

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科

氏名：志賀 友美